

令和5年度学校評価アンケートまとめ

柏市立松葉第一小学校

学校教育目標	「自分で考え、判断し、行動する児童の育成」 －社会に貢献できる自立した人間となるために 自治・自主・自律－
重点目標	(1) 松一スタンダードの活用 (2) 学ぶ主体は子ども (3) 安全で安心な学校

1 アンケート項目及び結果について

児童・保護者・職員に対して実施した質問項目とその結果は別紙のとおりです。関連する質問項目ごとに整理し、肯定的な回答について比較をしています。

2 重点目標に関する状況について

(1) 松一スタンダードの活用について

本校では、基本的な生活習慣及び学習ルールを共通認識し徹底するための手引きとして、「松一スタンダード」を活用して指導にあたってきました。疑義や新たな問題が生じた場合には、生徒指導部会を中心に随時見直しや共通理解を図ってきました。

また、各教室には「よい子のやくそく」といった概要版を掲示し、職員の経験に左右されず、全学級が同一の視点で指導に当たれるように取り組んできました。

学校評価アンケート(肯定的評価)の「6 友達と仲よくできているか」では、児童 95% 保護者 93% 職員 91%であり、3者ともに9割以上の回答が見られ、良好な友人関係を構築している児童が非常に多い状況があります。「5 学校のきまりを守って生活しているか」の設問でも、児童 91% 保護者 94% 職員 89%であり、秩序ある学校生活ができていると考えられます。

一方で、「29 悩み事や相談を聞いてくれるか(対応しているか)」では、児童 80% 保護者 81% 職員 93%であり、児童と職員の状況に差があります。

今後は、日常の生活に加えて、各種アンケート等を活用しながら、これまで以上に児童の様子を見取り、一人一人に丁寧に対応していくことが必要であると考えます。

(2) 学ぶ主体は子どもについて

一人一人の児童に応じたきめ細やかな指導のために、県費職員だけではなく、市費職員(低学年支援教員・教育支援員・理科教育支援員・外国語活動支援員・ALT・図書館指導員・スクールカウンセラー・学級経営アドバイザー・スクールサポーター・事務補助)と連携して取り組んできました。

また、職員自身の授業力向上を目的として、全職員が参加し、「自分の考えを表現し、進んで学び合う子どもの育成－算数科におけるわかるできる喜びを感じられる対話的学習を目指して－」をテーマに校内研修にも取り組んできました。特に、今年度は、国立教育政策研究所より講師を招聘し、より専門的な視点から算数科の授業づくりについて研修を重ねました。

学校評価アンケート(肯定的評価)の「8 よく考えて学習できているか」では、児童 93% 保護者 79% 職員 86%であり、多くの児童が意欲的に学習に取り組んでいる姿があります。また、「17 工夫してわかりやすく学習を教えているか」では、児童 93% 保護者 73% 職員 91%であり、研修をいかした職員の指導方法の工夫改善が進んでいることがわかります。

「16 ICTを取り入れた授業を行っているか」でも、児童 90% 保護者 88% 職員 100%であり、児童や職員の積極的な活用が進んでいるところです。

しかしながら、いずれの設問でも保護者の肯定的評価が低い傾向にあります。新型コロナウイルス感染症の5類移行を受けて、制限を撤廃して授業参観や行事公開等を進めてきましたが、日々の学習の様子も含めて、教育活動が十分に伝えられていないことが一因とも考えられます。

さらに、「28 保護者や地域と連携して教育活動を進めているか」では、保護者73% 職員91%（児童調査なし）であり、保護者と職員の状況にも差が生じています。

今後は、保護者や地域と連携した学習の充実も進め、本校教育活動の周知や広報をさらに行っていくことが必要不可欠であると考えます。

(3) 安全で安心な学校について

日常の校内巡回や毎月の安全点検により施設等の安全を確認し、教育委員会担当課と連携して速やかな修繕改修や備品更新等を進めてきました。

また、登下校の安全確保は本校の喫緊の課題として、交通安全推進隊や登下校ボランティアの皆様の御尽力のもとに、職員による日々の指導はもちろんのこと、問題が発生した場合には、学級指導や登下校指導を重ねてきました。

学校評価アンケート(肯定的評価)の「25 安全や健康に配慮した教育活動や教育環境整備をしているか」では、児童92% 保護者82% 職員96%であり、環境整備によって、少しずつ安心安全な学校生活や教育環境につながってきていることがわかります。

児童がより安心安全な生活を過ごすためには地域との関わりも欠かせませんが、「27 地域の行事に進んで参加しているか」では、児童65% 保護者42%（職員調査なし）であり、2者ともに非常に低い回答状況です。

今後は、心身ともに健康な生活ができるよう取組を継続していくとともに、保護者や地域との関係づくりを重ねて、協力を得ていくことが必要であると考えます。

3 保護者からの「よりよい学校にするための提案」について

主な提案内容は以下のとおりでした。御意見をもとに、次年度の教育課程や職員の指導改善につなげ、より充実した教育活動が展開できるよう検討していきます。

- 学校行事の実施内容・公開方法
- 今後の部活動
- 児童間トラブルの対応
- タブレット端末の利用方法
- 職員の指導方法
- 学校からの情報発信・デジタル配信の方法

4 次年度に向けた改善について

- (1) 「全職員が全児童の担任」という意識で教育活動をするため、学習指導や生徒指導にあたり共通理解・共通実践を行い、一人一人の児童に細やかな対応を進めます。
- (2) 教育活動全体(日常の生活や学習、学校行事を含めて)をとおして、児童が主体的に考え、対話による問題解決ができる機会を意図的に設けます。
- (3) 校内研修及び市主催研修等の活用により、職員の基礎的な指導力(教科指導・生徒指導・学級経営)の向上を図ります。
- (4) 学校ホームページや学校だより、文書配信アプリ等の活用により、保護者に対して確実な連絡と積極的な広報を進めます。
- (5) 保護者や地域ボランティアの協力、柏警察や柏市教育委員会の協力のもとに、登下校の安全確保や学校施設等の環境整備を図ります。
- (6) 松葉地区3校(松葉一小・松葉二小・松葉中)コミュニティ・スクールの活動のもとに、保護者や地域との連携を強固なものにし、地域全体で地域の児童を育てるため、協働的な取組をさらに進めます。